

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で4,000cells/ml、ケラチウム属が最高で900cells/ml、シャットネラ属が最高で1cells/ml確認されました。

カレニアは、目ノクソ、光松、大鹿、水試小割前で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

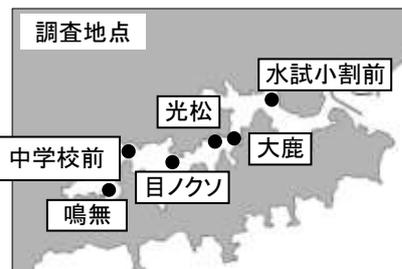
ケラチウムも、目ノクソ、光松、大鹿、水試小割前で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

これらは今後さらに増殖する危険性があります。餌止めを行うなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	35,200
	2m	3	0	8	3,100
	透明度:3.3m	5m	1	1	13
目ノクソ	0m	1	0	41	17,900
	2m	14	0	143	4,200
	透明度:2.3m	5m	2,300	0	65
光松	0m	3	0	70	15,800
	2m	3,000	0	900	8,700
	透明度:1.9m	5m	520	0	160
大鹿	0m	67	0	115	7,150
	2m	4,000	0	760	8,800
	透明度:1.7m	5m	88	0	57
水試小割前	0m	3	0	21	16,500
	2m	8	0	84	10,200
	透明度:2.8m	5m	700	0	110
鳴無	0m	1	0		
	2m	2	0		
	透明度:2.6m	5m	250	1	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>